

令和 3 年度「教育調査」集計結果について

今年度実施した、「教育調査」の集計結果について学校運営協議会でも話題とし、対応策について検討しましたことをご報告します。アンケートにつきましては、趣旨をご理解いただき、ご協力くださりありがとうございました。各項目について出された結果を受け止め、来年度の学校計画（教育課程）作成の資料とさせていただきます。

教育調査集計表（保護者）

回収率 56.70%

	問	質問内容（評価項目）	とてもそう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	まったく思わない	分からない	肯定的	否定的
学校経営	1	子どもの学校生活は、全体として満足できるものである。	38%	51%	10%	1%	0%	1%	89%	1%
	2	学校は、経営方針や教育目標を保護者に分かりやすく伝え、教育活動に生かしている。	30%	51%	17%	2%	0%	1%	81%	2%
	3	学校は、学校行事や学校公開後のアンケートや個人面談を通して保護者や地域の意見や要望を取り入れている。	24%	44%	26%	4%	0%	2%	67%	4%
	4	学校は、教職員が協力し、落ち替いて充実した教育活動を進めている。	32%	48%	13%	4%	0%	3%	81%	4%
	5	学校は、ユネスコスクールとして様々な専門性をもつ人材が協力し、組織的に子供たちの成長を支えてくれていると感じている。	34%	42%	16%	4%	0%	5%	75%	4%
	6	特色ある教育活動（ESDの学習の導入等）は、学校や地域に特有の課題解決を通じて、子供たちの成長により効果をもたらしている。	39%	37%	19%	1%	0%	4%	76%	1%
	7	連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている。	12%	28%	35%	10%	0%	14%	40%	10%
	8	学校は、自校の教育活動に関する評価結果とそれに基づく改善策等の情報を提供している。	20%	38%	33%	3%	0%	6%	58%	3%
学習指導	9	学校では、子どもが安心・安全な学校生活を送ることができる学級づくりを行っている。	36%	46%	14%	3%	0%	1%	82%	3%
	10	子どもは、学校で学ぶことにより、必要なときに、必要なことを、自ら学んで身に付けることができる力が育っている。	24%	48%	23%	3%	0%	1%	72%	3%
	11	学校は、子供の興味・関心を引き出すような授業を工夫している。	27%	47%	22%	2%	0%	2%	74%	2%
	12	担任の教員は、分かりやすく教えている。	44%	40%	10%	3%	0%	2%	85%	3%
	13	算数の少人数指導では習熟度別指導を取り入れ効果的に行われている。	20%	35%	17%	2%	0%	25%	55%	2%
	14	学校において、PUT（水曜放課後のパワーアップタイム）など個に応じた指導が行われている。	33%	29%	17%	1%	0%	20%	62%	1%
	15	学校は、子どもの学習状況を適正に評価している。	25%	47%	22%	4%	0%	3%	72%	4%
	16	学校は身近な自然に目を向ける活動やゴミの分別、節電・節水などの取組を通して、自然やエネルギーを大切にする教育を行っている。	37%	45%	14%	1%	0%	4%	81%	1%
	17	学校は、ICT機器（電子黒板やデジタル教科書等）を活用した授業を行っている。	42%	40%	14%	2%	0%	1%	83%	2%
道徳教育	18	子どもは、学校での生活を通して、他者と共によりよく生きるための力が育まれている。	31%	50%	16%	2%	0%	1%	81%	2%
体力・健康教育	19	子どもは、学校での生活を通して、体力や食、生活習慣をはじめ健康な生活を送る力が育まれている。	37%	49%	13%	1%	0%	0%	85%	1%
	20	子供は、家庭においても、基本的な生活習慣が身に付き、健康な生活を送っている。	33%	48%	16%	2%	0%	0%	81%	2%
	21	子供の体力が高まるよう、体育の授業や、休み時間外遊びを敢行するなど活動を工夫している。	31%	44%	17%	5%	0%	4%	75%	5%
教育相談	22	子供は、安全な登校など、きまりを守って生活している。	45%	40%	14%	1%	0%	0%	85%	1%
	23	子供は、毎日、楽しく学校へ通っている。	49%	35%	13%	3%	0%	0%	84%	3%
	24	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている。	17%	36%	28%	6%	0%	13%	53%	6%
特別支援	25	学校は、子どもたちの発達に関する課題など、障害理解を深める情報を提供している。	12%	32%	34%	7%	0%	15%	44%	7%
	26	子どもは、特別支援学校や特別支援学級の子ともと交流したり、一緒に活動したりする機会がある。	7%	15%	28%	10%	0%	40%	22%	10%
地域と共に在る学校	27	学校は、家庭や地域と連携・協力して教育活動を行っている。	28%	44%	24%	2%	0%	2%	72%	2%
	28	学校は、社会貢献活動（募金活動、清掃活動他）や地域での体験活動を通して、地域との連携に努めている。	19%	40%	27%	4%	0%	11%	59%	4%
	29	学校と学校支援本部は連携し、学校行事や教育活動、地域への関わり方を工夫している。	29%	40%	22%	1%	0%	7%	70%	1%
その他	30	学校での生活を通して、子供に、地震や火災など、様々な危険を予測し、回避する力が育まれていると感じている。	30%	45%	21%	3%	0%	2%	75%	3%
	31	学校は、学校公開日や学校・学年便り、ホームページ、PTA運営委員会などで、教育活動や子供たちの様子を伝えている。	39%	44%	14%	2%	0%	0%	83%	2%
	32	学校は、施設・設備を整え、安全で清潔な環境づくりに努めている。	27%	44%	22%	6%	0%	1%	71%	6%
特別支援	33	通級指導学級・特別支援教室で学ぶことによって、子どもは、在籍している学級の授業への参加がしやすくなっている。	42%	26%	11%	5%	0%	16%	68%	5%

教育調査集計表(児童)

		質問内容（評価項目）	とてもそう思う	ややそう思う	どちらでもない	あまり思わない	全く思わない	分からない	肯定的	否定的
学級経営	1	先生は、クラスみんなが分かり合い、協力し合えるようにしてくれている。	49%	32%	11%	4%	1%	2%	81%	5%
学習指導	2	授業では、学習を進める方法やペースを、自分で決めながら学んでいる。	19%	34%	31%	11%	4%	2%	52%	15%
	3	授業では、自分の得意なところを伸ばしたり、苦手なところを少なくしたりできるように、個別に教えてくれている。	7%	23%	32%	14%	15%	9%	30%	29%
	4	授業では、自分の興味に基づいて問いや課題を立てて学んでいる。	20%	35%	26%	11%	5%	2%	56%	16%
	5	授業では、自分が必要な時に、必要な仲間と協力しながら学んでいる。	52%	30%	10%	3%	3%	2%	82%	6%
	6	学校の授業によって、分かることやできることが増えている。	56%	24%	14%	1%	4%	1%	80%	4%
	7	先生は、授業で自分ができたことを誉めてくれたり、間違えたところを教えてくれたりしている。	37%	32%	17%	6%	4%	5%	68%	10%
	8	先生は、授業において電子黒板やデジタル教科書を活用している。	80%	15%	2%	1%	1%	2%	95%	2%
	9	先生は、今の授業で学習していることが、前の授業や今後の授業とどのようにつながっているか、教えてくれている。	40%	38%	14%	4%	2%	3%	77%	5%
道徳授業	10	道徳の時間では、友達や家族、地域の人たちと共によりよく生きることの大切さについて、みんなで話し合っている。	44%	37%	13%	1%	2%	3%	81%	4%
体育・健康教育	11	先生は、健康な生活を送るために必要なことを教えてくれている。	42%	33%	15%	4%	1%	5%	75%	5%
地域と共に在る学校	12	地域の行事に参加している。	13%	17%	28%	16%	17%	10%	30%	32%
	13	先生は、地域の人たちと協力しながら、授業や学校行事をよりよくしてくれている。	25%	27%	23%	7%	5%	14%	51%	12%
	14	友達や先生、家族のことなどで悩んだとき、学校に、相談できる大人（先生、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、地域の人など）がいる。	66%	15%	8%	4%	1%	5%	81%	5%
	15	学校では、地震や火事など、様々な危険を予測し、よりよい未来を築くための知識や考え方について学んでいる。	50%	30%	15%	1%	1%	3%	80%	2%

昨年度と質問の内容が違う項目があるため、年度ごとの比較ではなく、肯定的な回答が低い項目や否定的な回答が高い項目について考察します。

【保護者アンケート】

項目	内容	予想される原因	改善策
7	小中一貫	・コロナ禍の影響で中止になった活動があった。 ・職場体験の受け入れや交流なども行っているが、お知らせ等をしていなかった。	行った活動を学校だより等でお知らせするようにします。
25	障害理解に対する情報共有	にした教室の先生や専門員の先生が研修等を行っているが、全家庭への周知が不十分だったと考えられる	保護者会等でお知らせするなど、情報の共有を行っていきます。
26	特別支援学校等との交流	限られた学年、クラスとの交流になるため、全体的な周知がされなかったと考えられる。	交流の様子等を学校だより等でお知らせしていきます。

【児童アンケート】

項目	内容	予想される原因	改善策
3	個別指導に関すること	個別指導はPUT（パワーアップタイム）などで、力を入れて取り組んでいるが、一部の児童への対応になっているのが原因だと考えられる。	さらに児童の実態把握に努め、個に応じた個別指導を丁寧に行っていきます。
12	地域行事	コロナ禍の影響で、地域の行事が中止になったことなどが影響していると考えられる。	地域の行事が行われる時は、学校でもお知らせをしていきます。